人類の出現と文明

名前

問1　紀元前16世紀頃に中国の黄河流域で興った、現在確認されている中で中国最古とされる王朝の名前として正しいものを選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 周
2. 漢
3. 隋
4. 殷

問2　秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため
2. 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
3. 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
4. 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため

問3　7世紀初めのアラビア半島において、ムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受けたとして開き、現代でも世界中に多くの信者がいる宗教は何ですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. ヒンドゥー教
2. 仏教
3. イスラム教
4. キリスト教

問4　古代文明で使われた文字の記録方法について、メソポタミア文明における特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 亀の甲羅や動物の骨に、鋭利な道具で占いの結果などを刻み込んだ。
2. 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。
3. 石碑や神殿の壁面に、王の業績を称えるために具象的な絵を用いた文字を彫った。
4. パピルスという植物から作られた紙のようなものに、インクを用いて書き残した。

問5　飛鳥時代から江戸幕府が成立する1603年までの日本の歩みを整理した時系列において、最も古い時期である7世紀初めのアジアおよび世界の動向を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. ルターが教会の免罪符販売を批判し、ヨーロッパで宗教改革が始まった。
2. マゼランの船団が世界周航を成し遂げ、地球が丸いことが証明された。
3. 秦の始皇帝が中国を統一し、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために万里の長城を築いた。
4. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。

問6　古代において、ナイル川の定期的な増水によってできた肥沃な土地を利用して発展し、象形文字や太陽暦を生み出した文明は何ですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. メソポタミア文明
2. インダス文明
3. エジプト文明
4. 中国文明

問7　古代から中世にかけて、敦煌（とんこう）などのオアシス都市を経由してアジアとヨーロッパを結んだ「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる交易路について、この道を通じて中国から西方へ運ばれたものと、西方から中国へもたらされたものの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 中国からは絹織物が、西方からは紙が伝えられた。
2. 中国からは綿織物が、西方からはぶどうが伝えられた。
3. 中国からは綿織物が、西方からは紙が伝えられた。
4. 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。

問8　世界で最も早く文明が誕生したとされる四大文明の共通点として、なぜそれらの地域が大河の流域であったのか、その理由と背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

1. 大河の周辺は山岳地帯に囲まれており、外敵の侵入を防ぐのに適した要塞のような地形だったから。
2. 川の流れを利用した水力発電が可能になり、早期に工業化が進んだことで、周辺地域を支配する軍事力を手に入れたから。
3. 広大な砂漠地帯において、唯一の交通路である大河を独占することで、シルクロードを通じた東西貿易の利益を独占できたから。
4. 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。

問9　石の柱に刻まれた「ハンムラビ法典」には、くさび形文字で「目には目を、歯には歯を」という原則が記されている。このように、法律を文字として記録し、公開した目的として最も適切なものはどれか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため
2. 特定の神官階級にのみ法律を伝え、民衆を秘密裏に支配するため
3. 文字を読めない民衆のために、刑罰の内容を絵で分かりやすく示すため
4. 他国との貿易において、商品の価格や取引のルールを共通化するため

問10　西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で発達し、現在のイラク付近に位置した古代文明において、粘土板に刻んで使われていた文字と、月の満ち欠けに基づいた暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 象形文字と太陰暦
2. くさび形文字と太陰暦
3. 象形文字と太陽暦
4. くさび形文字と太陽暦

問11　西アジアのチグリス川とユーフラテス川という2つの大河の流域で栄えた古代文明について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 三重県公立入試 類似）

1. 黄河流域で青銅器が作られ、亀の甲羅などに刻まれる甲骨文字が使われた。
2. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。
3. チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。
4. インダス川流域で、下水道などの設備を整えた計画的な都市が建設された。

問12　古代中国の秦の時代に整備された「万里の長城」に関連する記述として、歴史的な背景を正しく説明しているものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 日本から派遣された遣隋使や遣唐使が、最先端の都の造りを学ぶための手本となった。
2. シルクロードを通じた西方との貿易を独占するために、関所としてのみ活用された。
3. 匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。
4. 農業生産を高めるために、黄河の氾濫を抑える目的で建設された。

問13　世界の四大文明は、アフリカのナイル川、南アジアのインダス川、東アジアの黄河や長江といった大河の流域で成立しました。これらの文明が大河の周辺で発展した理由について、当時の社会の仕組みの観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）

1. 大河は他民族の侵入を完全に防ぐ天然の壁となり、軍隊を持つ必要がなくなったことで文化の研究に専念できたから。
2. 大河の周辺には、ピラミッドや巨大な城壁などの石造建築物を作るために必要な良質の石材が、世界で唯一豊富に存在したから。
3. 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。
4. 河川の急流を利用した水車によってエネルギーを確保し、それを用いて青銅器や鉄器を大量生産する工業化に成功したから。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 殷	中国の文明は大河の流域で発達しました。その中でも黄河流域では紀元前16世紀頃にこの王朝が成立し、青銅器の使用や、神意を問う占いによる政治が行われていました。後に続く周や、広大な帝国を築いた漢、中国を再統一した隋よりも古い時代にあたります。
問2	答え 4 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問3	答え 3 イスラム教	ムハンマドはメッカの商人の出身であり、唯一神アッラーを信仰するこの宗教を創始しました。当時のアラビア半島は多神教が一般的でしたが、厳しい修行ではなく信仰による救いを説いたこの教えは急速に広まり、世界三大宗教の一つとなりました。
問4	答え 2 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。	メソポタミア文明が成立した地域では、紙の原料となる植物よりも粘土が豊富に得られたため、記録媒体として粘土板が活用されました。乾く前の柔らかい粘土に茎を押し付けて書く技法が、楔形文字特有の形を生み出しました。他の選択肢は、中国文明の甲骨文字や、エジプト文明のヒエログリフに関する記述です。
問5	答え 4 アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。	小野妹子が隋へ派遣された7世紀初め、西アジアではイスラム教が成立し、急速に勢力を拡大していました。ルターによる宗教改革やマゼランの世界周航は16世紀（日本では室町時代末期から安土桃山時代）の出来事です。また、秦の始皇帝による中国統一は紀元前3世紀の出来事であり、7世紀の日本の状況とは時期が大きく異なります。
問6	答え 3 エジプト文明	ナイル川の流域で発達したエジプト文明では、定期的な増水後の肥沃な土を利用して農耕が行われ、象形文字（ヒエログリフ）や太陽暦が作られました。
問7	答え 4 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。	中国の特産品であった絹織物は、西方で非常に高く評価され、この交易路の名称の由来にもなりました。一方、西方からはぶどうやスイカなどの農作物のほか、馬や宝石、そしてインドからの仏教などが中国へもたらされました。綿織物は主にインドから伝わったものであり、紙は中国で発明されたものですが、この時期に西方から中国へもたらされた主要な産物ではありません。
問8	答え 4 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。	大河の流域では、氾濫によって運ばれる栄養豊富な土を利用して大規模な農業が可能になりました。治水や灌漑（かんがい）などの大規模な作業を統率するために強力な指導者が現れ、それがやがて国家の形成へとつながりました。これに伴い、記録のための文字や暦も発達しました。
問9	答え 1 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため	ハンムラビ王は、メソポタミアを統一した際、それまでバラバラだった慣習やルールを「成文法（文字に書かれた法律）」としてまとめました。誰の目にも見える形で法律を提示することで、公平な裁判の基準を示し、王の権威のもとで社会秩序を安定させる狙いがありました。
問10	答え 2 くさび形文字と太陰暦	西アジアの「肥沃な三日月地帯」で成立したメソポタミア文明は、チグリス川とユーフラテス川という2本の河川の恩恵を受けて発展しました。この文明では、乾燥させた粘土板に葦の茎などで刻む「くさび形文字」が発明され、記録や商取引に利用されました。また、天体観測により月の満ち欠けを基準とする「太陰暦」が作られ、これが後の暦の基礎となりました。ナイル川流域のエジプト文明（象形文字・太陽暦）と知識が混同されやすいため、河川の名前と文化の特徴をセットで整理することが重要です。
問11	答え 3 チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。	メソポタミア文明は、現在のイラク周辺を流れるチグリス川とユーフラテス川の間に広がる地域で発展しました。この地域では農耕や商業が盛んに行われ、その記録を残すために粘土板にくさびのような形の文字を刻む「くさび形文字」が発明されました。また、天文学や数学も高度に発達し、農作業や儀式の目安となる暦が整備されました。
問12	答え 3 匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。	万里の長城は、秦の始皇帝が北方の遊牧民族である匈奴（きょうど）などの侵入を阻止するために、それまで各国が築いていた壁を修復・連結して大規模な防衛システムとしたものです。この巨大な建造物は、その後の王朝でも修復や拡大が繰り返され、中国の北方を守る重要な境界線となりました。都のモデルとなったのは長安などの「都城」であり、万里の長城とは役割が異なります。
問13	答え 3 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。	大河の流域で農業生産を安定させるためには、洪水を防ぐ治水や、田畑に水を引く灌漑といった大規模な土木作業が不可欠でした。これらの作業を統率する過程で、強力な権力を持つ王や指導者が現れ、階級や税の仕組み、文字による記録体系を持つ「国家」という組織が整えられていきました。